



The Rotary club of Kobe East Bulletin  
神戸東ロータリークラブ会報



No.374 2013-2014 No3

表紙絵：太原 震也元会員

会長／野々村 禎之 副会長／岡 栄治 幹事／須藤 雄二 雑誌会報委員長／田中 寿夫 副委員長／四方 克明  
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長テーマ 「みんなでさがそう 新しい芽」



RI President

Ron D. Burton  
2013-2014年度国際ロータリー会長





2013 - 2014 年度 神戸東ロータリークラブ  
第 60 代会長 **野々村 禎之**

2013 - 2014 年度 第 60 代会長 退任にあたりご挨拶申し上げます。

2013 年 7 月 2 日にスタートし、本日、2014 年 6 月 24 日までに 45 回の例会を行い、理事・役員、はじめ会員各位の皆さまの温かいご理解とご協力に依りまして、次年度へ引き継ぐことが出来ました。心より感謝と御礼を申し上げます。

本年度は創立 60 周年、人生に例えるならば「還暦」という節目の年でありました。「これまでの人生を振り返り、生まれ変わった気持ちで、新たにスタートを切る年」と位置付け、過去から継続してきた事業を振り返り、また新しい事業の開発等スタートをさせるとの思いから、本年度の会長テーマを「みんなでさがそう 新しい芽」とさせて頂きました。

60 周年を迎えた本年度は、実行委員会組織とダブルキャスト (double casting) を組みましたので、上半期 (7 - 12 月) は、通常のクラブ事業に集中させ、年度初めに結束力を高める・意思疎通を高めるための親睦会を開催し、プロバスクラブ総会への出席、花火大会、友生支援学校の開校式典、王子動物園案内看板等の贈呈式、写生大会、友生支援学校への和太鼓寄贈事業、東北への一泊旅行、家族忘年会、合同新年例会 (東灘・六甲・ベイ・プロバス) の開催、

青陽東・友生ボウリング大会、地区大会、中央区少年団野球大会、打上げ親睦会と事業を行いました。下半期 (1 - 6 月) は実行委員会の活動中心に 4 月に周年記念式典・祝賀会と講演会を開催致しました。年度を通じて、年初 105 名でスタートしました会員数も 108 名になり、純増 3 名となりました。「手続要覧」の発行の遅れと 4 月に挙行致しました 60 周年式典等があり、クラブの「定款細則」変更が遅れ、外部卓話者の関係もあり、最終例会日に臨時総会を開催ご承認を頂きました。「会員増強が重要課題」として、担当理事を置き増強に取り組む姿勢を明確にしました。「新しい芽」として、職業・社会奉仕分野では障害者の就労支援への取り組み。増強部分では未充填分野が開けました。広報の分野では弘田会員が facebook を通じて、毎週の食事の写真を紹介して、彼の友人に RC の理解を広げてもらいました。他の委員会も、テーマに伴う具体的な活動を行い、初期の目的を十分に達成して頂き次年度へのバトンタッチもスムーズにできました。

退任の挨拶を終えるにあたって、理事・役員、会員各位、むつみ会の皆さまの温かいご支援、事務局の皆さんのご協力、そして最後になりましたが岡栄治副会長、須藤雄二幹事のお二人にはどんなに感謝の言葉を並べても足りませんが、支えて頂き有難うございました。次年度の乙守会長、吉井副会長、澤田幹事のご健闘をお祈り致しまして退任の挨拶と致します。





副会長 岡 栄治  
クラブ奉仕委員長

2013～2014 年度、野々村会長、須藤幹事のもと、副会長としての役割、またクラブ奉仕委員会の委員長としての役割を、無事終えることができました。

本年度の会員各位の温かいご協力と、各委員会の活発な活動に支えて頂き、心より感謝を申し上げます。

本年度を振り返って見ますと、神戸東ロータリークラブは、創立 60 周年という記念すべき節目の年でありました。

会員各位におかれましては、例年の事業に加えて、創立記念の事業も加わり、その準備等に倍旧のご尽力を頂いたことを、重ねて御礼申し上げます。

さて、本年度の会長テーマは「みんなでさがそう、新しい芽」でありました。

創立 60 周年という区切りの年、人間に例えるなら、まさに「還暦」、つまりはこの大きな区切りを新たなる出発点として、今迄と違った方向性を見つけ、更なる成長を目指す、というものでございました。

そして、この探し出した『新芽』を、次代に

向け引継ぎ、大切に育んでいくことも、我々の責務ではないかと思っております。

それでは、神戸東ロータリークラブが、今後益々発展していくことを心より祈念し、本年度の皆様のご活躍に改めて御礼申し上げ、次年度の皆様のご活躍にエールを送り、退任の挨拶と致します。





幹事  
理事 須藤 雄二

今年度、神戸東ロータリークラブは創立 60 周年を迎えました。60 年は還暦に当たる年度です。今年度は、この歴が還るという意味を斟酌し、クラブ創立時の初心に還る事を心に置きながら、先輩諸氏が築いてこられた歴史に裏打ちされた伝統や格式を大事にすると共に、次世代へ繋がる新しい取り組みを始める年度と考えて活動してまいりました。

ロータリーインターナショナルでは、先進国での会員減少等の時代の変化に対応すべく、色々な取り組みを模索しています。我々が所属している 2680 地区でも、会員数の減少が続いており、今後、残って発展していくクラブと消滅していくクラブの選別が激しくなると予想されます。このような環境の中で我々のなすべきことは、自分達のクラブの体質を強化することしかありません。

その為には、  
会員数の増強、  
クラブ運営全般の簡素化及びスリム化、  
そこから今までに培ったクラブ運営が積み上がっていくような仕組作り、  
外部にアピールできる持続性のある奉仕活動の充実、

有益な例会プログラムの実施、  
親睦会や同好会を通じた楽しさを謳歌できる  
クラブライフの提供、  
時代の変化に素早く対応できるよう、柔軟な  
発想が出来る組織作り  
等が重要と考えます。

当クラブには 100 名を超す会員が在籍され、  
会員間に大きな年代の幅もあります。今後のク  
ラブ運営においては、世代の違う会員間の融和  
を計りながら、和やかさの中に緊張感を持ち、  
上記の課題を一つ一つ着実にこなしていくこと  
が、重要と考えます。

今年度一年間の皆様のご協力に感謝いたし  
ます。



## 60 周年の式典・祝賀会が総勢 198 名で開催



神戸東ロータリークラブの創立 60 周年を祝う記念式典並びに祝賀会が、平成 26 年 4 月 8 日(火)にホテルオークラ神戸において盛大に開催されました。

当日は例会終了後式典に先立ち細川佳代子さんの「インクルージョン(包み込む)社会を目指して」と題した講演が催されました。素晴らしいお話しで会場の「松風の間」は熱気に溢れておりました。

その後、参加者には場所を変えて「東彩会」の皆さんが持ち込まれた絵画や写真の力作の観賞を川島会員のご提供によるお茶を嗜みながら楽しんでいただきました。

そしてその後「平安の間」において式典・祝賀会が開催され、会員 88 名、夫人 42 名、RC 関係招待者(海外含め)55 名、関係諸団体 7 名等総勢 198 名の参加を得ました。

式典では野々村会長より創立 60 周年のテーマである「温故知新」に則った過去の歴史を振り返り、未来への決意を表明する挨拶がありました。皆出席会員の表彰や銀婚のお祝いも行われ、会員・夫人にとって楽しくも有意義な時間を過ごすことが出来ました。

(創立 60 周年記念事業実行委員会  
総務部会長 横山幹夫)



「R I のゆくえ」

R I 研修リーダー

**三木 明** (姫路 RC)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。具体的には、次の各項を奨励することです。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「ロータリーの目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自

の職業を高潔なものとする

職業奉仕に意欲と熱意を感じる人にとって、ロータリーほどその実践にふさわしい場はありません。職業奉仕はロータリーの真髄であり、ロータリーをほかの団体と分かつ要素でもあります。では、職業奉仕はどのように実践できるのでしょうか。

- 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。
- 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
- 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
- 若者のキャリア目標を支援する。
- 専門能力の開発を奨励し、指導する。

人々が、ロータリーに入会する理由はさまざまです。しかし、多くの会員は、特定の業種や専門分野における活躍が認められて入会します。ロータリーでは、この特定の業種や分野を、「職業分類」と呼んでいます。ロータリー・クラブの会員基盤は、各地域社会に存在するビジネスや職業を幅広く反映しており、これによって、クラブの活動や考え方に多様性がもたらされています。職業分類は、職業奉仕と切っても切り離せない関係にあります。ロータリアンは、ロータリーにおいて各職業を代表する一方で、各業界においてロータリーを代表しています。

行動しよう

ある職業分類を取り上げた例会プログラムを実



施する：

特定の職業に関する発表（プレゼンテーション）を通じて、ほかの職業についてそれまで知らなかった内容や仕組みが学べるだけでなく、職業上のネットワークを築くことができます。また、ゲストや会員候補者を例会に招く上でも効果的です。

会員の職場訪問（ツアー）を行う：

人前で話すことが苦手な会員は、自分の職業について発表するより、職場訪問を行うことを好むかもしれません。クラブの運営に支障がなければ、時には会員の職場で例会を行うのも一案です。

職業に関連する親睦活動グループに参加したり、新たにグループを設立する：

ロータリー親睦活動は、共通の趣味や職業を持つロータリアンとその配偶者、ローターアクターによる国際的な取り組みです。医師、法律・弁護士、出版関係など、親睦活動グループの種類は多岐に渡ります。

高い倫理基準の実践を通じて高潔性を推進することは、ロータリアンとして不可欠の要素です。その中で生まれたのが、「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」（ロータリーの職業宣言）の2つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか四つのテスト

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は次のように行動する。

1. すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
2. 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に

生かすこと。

3. 高い倫理基準を奨励し、助長しながら個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
4. 他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
5. 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
6. 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
7. ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

職場で高い倫理基準を推進するために事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、従業員、同僚、地域社会全体に対して模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。仕事に関連したあらゆる交流は、倫理的な行動を奨励する機会となります。ロータリアンは、日々の仕事において倫理を実践し、奨励することができます。職場で高い倫理基準を推進するために事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、従業員、同僚、地域社会全体に対して模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。仕事に関連したあらゆる交流は、倫理的な行動を奨励する機会となります。ロータリアンは、日々の仕事において倫理を実践し、奨励することができます。従業員の雇用や研修において、誠意、責任、公平さ、尊重について説明し、その重要性を強調することが大切です。

- 仕事仲間による模範的な行動を称え、奨励する。

・顧客、業者、仕事関係者と接する際は、高い倫理基準を遂行し、思いやりと熟慮をもって行動する。

これらのことは、ロータリーの目的（綱領）中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）四つのテスト、およびロータリーの行動規範にて要約され、世界各地で活動するロータリー・クラブおよびロータリアンによって実行されるものです。

また、法人組織である国際ロータリーは、管理統括の透明性、財源および財的状況の適切な管理、および公正な労働慣行に対する献身をもって、組織の社会的責任に尽くすものです。

行動しましょう。

・「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」について、例会で時間を割いて話し合う：

特に、新会員や会員候補者にこれらの指針の重要性をしっかりと伝え、ロータリーでは高潔性が重んじられることを理解してもらうことが大切です。

職場で倫理に関する研修を行う：

ロータリアンではないビジネスリーダーを招待するのも一案です。倫理的問題に対する実践的な解決方法を学ぶには、具体的な事例を紹介した上で、自由討論形式で研修を行うのが効果的です。

若者を対象とした作文やスピーチのコンテストを実施する：

多くのクラブが、地元の中学生や高校生を対象に、「私にとっての四つのテスト」などと題したコンテストを実施しています。コンテストは、倫理と高潔性という概念について、若い人々に考えてもらうのに効果的な職業研修と職業能力の向上に役立つのです。

ロータリーの基本理念で仕事の重要性が強調されているように、仕事を通じて、人は尊厳のある暮らしを立てることができます。また、社会を構成する人々が、各自の才能と意欲を最大

限に発揮すれば、社会は大きく成長します。このため、ロータリー・クラブの会員は、自らの職業的知識を向上する活動を通じて、また人々が雇用の機会を得られるよう研修を提供することによって、職業能力向上の推進に大きく力を注いでいます。

行動しよう

・地域社会でロータリアン以外の職業人とのネットワークを広げる：

クラブでビジネス・ネットワークを広げる行事を行ったり、地域社会の職能団体の活動に参加したりしましょう。ネットワークを広げることで、会員候補者にクラブについて知ってもらえるだけでなく、専門知識や知り合いを広げることができます。

求職者を対象としたキャリア相談を行う：

世界的な不景気にある今日、才能ある多くの人材が職を探しています。このような人々がスキルを高め、自信を持って職探しを行えるよう、地域社会で支援を提供しましょう。

若者を対象とした進路指導を行う：

地元の高校の進路相談に参加したり、職業体験プログラムを実施したりしましょう。職業に関する知識を教えることで、若い人たちの視野が広がり、将来のキャリアをしっかりと選択できるようになるでしょう。地元のインターアクトやローターアクト・クラブ、または学校との協力を検討してください。

ロータリーは、特に次の6つの分野に重点を置いて活動しています。

平和と紛争予防 / 紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生設備

母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

クラブ研修リーダーについて少しお話をした

と思います。クラブ・レベルの研修の充実のために RI は、各 RC に「クラブ研修リーダー」(Club Trainer) の任命を推奨しています。これは、2006 年 11 月 RI 理事会で決定されました。その目的は、クラブ・レベルのロータリー研修を強化・充実することです。

クラブ研修の充実は、クラブ活性化とクラブ組織強化の重要な要素です。クラブ活性化を図るため、地区は、クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) の検討・導入を各 RC に奨励しています。地区リーダーシップ・プラン (DLP) は、2002 年より義務的採用され、クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) 2005 年より導入が奨励されました。CLP は、クラブ自治権の上に成り立つものです。

#### CLP における 9 段階の実行策

1. 効果的なクラブの要素に取り組む長期計画を立案する。
2. 「効果的な RC となるための活動計画の指標」を使用し、クラブの長期計画と調和した年次目標を設定する。
3. 会員を計画過程に参加させ、ロータリーの活動に関する情報を伝えるためのクラブ協議会を実施する。
4. クラブ役員、会員、地区指導者の間の明確なコミュニケーション(意思の疎通)を保つ。
5. 一貫した引継ぎ計画を含め、クラブの指導者の継続性を確保する。
6. クラブ委員会構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、クラブ細則を改正する。
7. クラブ会員間の親睦をさらに深めるような機会を提供する。
8. 会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与するようにする。
9. 包括的な研修を立案し、実施する。

クラブ会長とクラブ研修リーダーの関わりはどのようなものでしょう。

会長が、その年度のクラブの代表者です。会長は、クラブの指導者として、クラブと理事会の会合の議長を務め、ロータリーの奉仕プログラムの推進を監督します。クラブ研修リーダーは、会長年度のクラブ研修を充実し、年次目標の達成を支援します。

また、「ロータリー情報委員会」の任務には次のようなものがあります。

- 会員候補者に RC 会員の特典と責務に関する情報を提供する。
- 会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、目的、活動に関する情報を提供する。
- 入会してから最初の 1 年間、新会員のオリエンテーションを監督する。

#### クラブ研修リーダー

クラブ会長エレクトが、次年度のクラブ研修リーダーを 1 名任命する。他の役職と兼任も可です。クラブ研修リーダーの任期は 1 年。連続で就任できる任期は 3 期まで。資格要件資格は特に要しませんが、研修・教育の技能を持ったパスト会長、理事会メンバー、ロータリー情報委員会委員長などが望ましいでしょう。

クラブ研修リーダーの任務および責務は次のようなものです。

1. クラブの年間研修計画を立案し、実施・監督する。
2. クラブ研修リーダーは、すべての研修ニーズが満たされるようクラブ理事会および各種委員会と協力する。
3. 支援とアイデアを得るために、地区研修委員会、クラブを担当するガバナー補佐、地区ガバナーと協力する。
4. 「クラブ指導力育成セミナー」を計画・実施する。

## 障害者就労支援プロジェクト報告

「青陽東養護学校」見学と就労現場見学「ゴンチャロフ製菓株式会社」訪問について



先日、平成 26 年 3 月 11 日(火)「障害者支援プロジェクト・青陽東養護学校見学と就労現場見学【ゴンチャロフ製菓株式会社】訪問」を実施致しました。

3 月 11 日(火)例会終了後、25 名の方々のご参加のもと、13:45 にホテルオークラを出発し、青陽東養護学校を訪問。就労に向けた学校側の取り組み内容や学習風景を見学させていただきました。続いて、ゴンチャロフ製菓株式会社様を訪問。実際に障害のある方々が業務に携わる様子を拝見し、企業側からの仕事の進め方についてのご説明もいただきました。その後、

16:15 にホテルオークラにて解散致しました。

今回、就労に向けての学校側の学習への考え方、また企業側の雇用に向けての取り組み実例を把握することができ、有効な会となりました。

我々ロータリアンとしても、障害がある方も健常者と同様に充実した生活が送れる様、支援を実施していくことの大切さを実感致しました。

皆様もご理解ご協力くださいます様、何卒よろしくお願い申し上げます。

( 職業奉仕委員長 橋本 豊捷 )  
( 社会奉仕委員長 井元 憲生 )

## 2013～14年度 ラウンド・テーブル会 開催報告



平成 25 - 6 年度ロータリー情報委員会は、次のとおり三回のラウンド・テーブル会を開催しましたので、ご報告させていただきます。

### 1. 第 1 回ラウンド・テーブル会ご案内

- (1) 期 日 平成 25 年 11 月 5 日  
 場 所 グリーンヒルホテル神戸  
 テーマ 「R I と地区と我がクラブ」について  
 講 師 久野薫バスターガバナー  
 参加者 23 名

(2) 2 年前の平成 23 - 24 年度第 2 回ラウンド・テーブル会は、久野薫バスターガバナーを講師として、「R I と財団と地区とクラブの関係」について話し合うというものでした。

しかしながら、当日台風が神戸を直撃するということで急遽中止になりました。

この時久野薫バスターガバナーが予定していた話については、久野薫バスターガバナーの「続ロータリーを語ろう - 2011～12 年度ガバナー記 - 」に「R I と財団と地区とクラブの関係」と題した論考が記載されています。

本年度第 1 回のラウンド・テーブル会は、流れた前回のこのテーマを中心に、その後の

経験を踏まえて、パート「R I は何を考えているか」、パート「ロータリークラブはどうあるべきか」について話してもらいました。

- (3) 久野バスターガバナーの講話の後で、参加者全員に、「自分が考えるロータリークラブ」というテーマで話してもらいました。  
 (4) 約 2 時間 30 分程度でしたが、グリーンヒルホテル岡本総料理長のご協力で、たくさんの料理と十分なお酒を自由に飲みながら、和気あいあいと行いました。

### 2. 第 2 回ラウンド・テーブル会ご案内

- (1) 期 日 平成 26 年 2 月 18 日  
 場 所 グリーンヒルホテル神戸  
 テーマ 「職業奉仕と我が社の経営理念」  
 講 師 橋本豊捷職業奉仕委員長  
 参加者 27 名

(2) 橋本職業奉仕委員長からの申出で、第 2 回ラウンド・テーブル会は、ロータリー情報委員会と職業奉仕委員会との共同開催となりました。

まず、鎌田ロータリー情報委員長が、「テーマ説明」として「ロータリーにおける職業奉仕」について説明し、その後橋本職業奉仕委

員長から、「我が社の経営理念と職業奉仕について」の講話がありました。

橋本委員長の話の概要は次のとおりです。

(10年前の経営理念)

お客様の喜びを我が喜びとする。

「贈る人の気持ち」を伝える事をパッケージを通じて貢献する。

会社の繁栄と社員の幸せのために働きがいのある会社にする。

(現在の経営理念)

全従業員の物心両面の幸せを追求すると共に、世のため人のために行動するパッケージを通して「贈る人の気持ち」を伝える。

この二つの理念を対比させ、ロータリーに参加した後自分が会社の経営理念として考えたのは、「最初はお客様も大事ですが、やはり働いてくれる従業員が幸せになって喜んで本当に橋本パッケに勤めて良かったと感じてもらった事が一番だと気がついたのです」と話しました。

(3) そののち、参加者全員から、「我が社の経営理念」を話して貰いました。非常に参考になる話が多く、書き留めた範囲で紹介します。非常に不十分ですので、落ちている人、間違っている人、ご免なさい。

「参加者の経営理念」のとおりです。

(4) 今回も、グリーンヒルホテル神戸のご厚意で、たくさんの料理とお酒を楽しんでいただきました。

#### 参加者の経営理念

パリでユダヤ人の時計屋に入った時、彼はみんなが喜ぶから時計屋をしていると言った。私も仕事ではみんなが喜ぶことを考えてしている。

従業員が自分のやっていることの意味を知っているのか。みんな自分が何をやっているかということを知れば、キッチンと仕事をすし、社員は会社のために頑張る。

会社の理念を理解し、その理念を後代までつないでいく。その点、「トヨタ」はすごい。快適空間を作る。満足度を追求する。

決してあきらめない。

信ずるところをやる。

取引ではキタナイ奴が勝つ。しかし、貧すれば鈍する。そのようなことはできるだけ避けた。

トラブルと事故は起こさないということを中心に掛けた。無駄は省くが事故は起こさない。

全力でやると事故につながる。コンセプトを大事にして変えない。「スタバ」は気が安まる空間をコンセプトにしていたが、バーガーを出して失敗した。「ユニクロ」は小売りとして物作りに徹し、品質を徹底的に追求して成功した。社長の考えを社員がわからないという会社が多い。コンセプトを一貫することは極めて大事である。

問題を設定し、その解決とする。これを自己満足でやっている。

心を伝える。そのための手法を考えると、方法は自然に新しくなり、変わっていく。

外食産業は職業分類にはない。会社は50周年を迎えた。つねに、皿に心を盛る、それが料理だと考えている。心がなければ単なる餌だ。

200社の経営理念を調べたことがある。作ったものを上手に使うというのが、成功の秘訣である。

「for guests」の意味を考える。「宿」というのは外敵から我が身を守るところである。それをどう実現するかを従業員とともに考える。

旅のあらゆるところで客を喜ばせ、心ときめかせるのが客へのサービスである。

改善する点を一人一つ提案すれば、みんなが行くと莫大な提案になる。それを生かすと大きな報酬を生む。

汗水を垂らす。これ以外にない。株でもうけてもダメ。家族に奉仕する。

プロフェッショナルであること。事業者にとって仕事は奉仕である。シエルドンは偉い。ロータリーとライオンズの違いは職業奉

仕が基本である。

「信用は金よりも尊い」これを英語に直して従業員に言っている。

### 3. 第3回ラウンド・テーブル会ご案内

(1) 期 日 平成26年5月27日

場 所 グリーンヒルホテル神戸

テーマ 「私の考える我がクラブの今後」

講 師 乙守典厚次年度会長

参加者 23名

(2) まず、鎌田ロータリー情報委員長が、「テーマ説明」として、ロータリーでは増強・強化が問題とされ、RIもその点を重視し取り組んでいること、それに対応し、我がクラブにおいては増強についてどう考えるべきかというのが今回のテーマである。その点について次年度会長の考えを聞いて、みんなで議論したい旨説明。

乙守次年度会長の話は次のとおりであった。(パワーポイントを使用し) 我がクラブの会員数はほぼ変わっていない。しかし、気がつかないでいるが、会員数の減少は深刻な問題。我がクラブの会員の平均年齢を考えると、いずれ大幅な会員数の減少の時代が来る。そこで、今からそれに対応する対策が必要である。そこで考えられることは、

他のクラブに無い、何かがないか。

魅力ある神戸風のブランド作りができないか。

これを考えていただきたい。

(3) このような乙守次年度会長の考えに対し、参加した会員から次のような発言があった。

神戸RCは、歴史・会員数とも一番である。神戸RCを参考にできないか。

これに対し、参加者から様々な視点からの発言があった。

神戸南RCの最近の会員の増強数と会員年齢の低さを参考にできないか。

これに対し、参加者から賛否両論があった。

我がクラブは2番手であることに甘えず

に、トップになることを目指せ、との発言。

また、女性会員問題について、最後まで女性会員がいないクラブを目指してもよいのではとの発言。

これらについては、発想の斬新さに感動するも現実的には消極的な発言多し。

我がクラブは、クラブとしての質が最も高く、会員相互間の関係が非常にうまくいっている。このことは他クラブからも評価されており、このことを他にアピールできないか。

その他、様々な意見が若手から出され、ベテラン会員からの丁寧な回答もなされて、非常に活発な意見交換であった。

(4) 前回と同じく、たくさんの料理とお酒がサービスされ、参加者は十分に楽しませて貰った。

グリーンヒルホテル神戸の岡本総支配人(第1回目の頃は総料理長)から感謝の挨拶があり、さらに、神戸東ロータリークラブ会員の利用については、ホテル側で格別の配慮をするとの約束もなされ、第3回目のラウンド・テーブル会を終えた。

(ロータリー情報委員長 鎌田 哲夫)



## 藤井 光造

- クレアシオン フジイ -

この度 栄誉ある神戸東 RC に入会させていただきました 藤井光造でございます。

わたしはいまから 22 年前の 1992 年チャーターメンバーとして、あるクラブに在籍しております。そこで 10 周年を迎えました。その後 12 年間友人と丹波篠山の農園で隠遁生活を志しておりましたが仕事から解放されず、またのこのこと舞い戻ってきたところ、この度ご縁をいただき大変うれしく思っております。

早いものでもうすでに半年が過ぎました。その間ラウンドテーブルが二回、日本酒を味わう会、忘年会、ゴルフと、真面目な会、楽しい会、硬軟織り交ぜたすばらしいクラブ運営を体験させていただいております。おまけに私の場合、入会金は要らず米山基金も継続が出来、まるでエコノミーの航空運賃でファーストクラスの席に座らせてもらったような幸運さと心地良さを実感しております。

さて、私の経歴ですが、先般卓話された佐井さんと同じ団塊の世代で同志社大学商学部の同級生です。ところが彼とは四年間一度もお会いしておりません。私は毎日毎日道場に通っておりまして柔道ばかりやっておりました。高校の

滝川で二段になり、少しは自信があったので一旗揚げようと頭もそこそこ、柔道も強い同志社を選んだのですが、大学に入ると同じ一年生にも投げられ立っている暇がないぐらいでして日本は広いなあと変な感心をしたものです。結局私のモットー「一流の下、二流の上」で講道館四段で卒業しました。

関西の雄、我が同志社大学柔道部は寝技の同志社と言われ、どんな選手でも寝技は負けませんでした。寝てたら投げられないので、すぐ自ら寝るのです。今なら即反則負けです。新島先生には申し訳ないですが、そうしないと名門大学の一流選手にはいっぺんに投げられてしまいます。われわれ引き分け要員は監督の指令は絶対技打つなで、畳の上を這いつくばっております。そしてうちのエースが一番弱い相手に勝ち 1 勝 4 分けて勝つのが勝ちパターンでした。関西では常にベスト 4 で、全日本の武道館ではテレビに映る直前に消え、ベスト 4 の壁は厚かったです。

卒業も学園紛争の中どさくさで卒業出来ました。そして父の会社に就職したのですが、体は鍛えても頭を鍛えるのを忘れておりました。急速某女子大の学長の紹介でフランスにデザインの勉強に行くことになりまして、大阪の万博に浮かれることなくつけ刃でフランス語を勉強をしまして、あれよあれよと言ってる間にパリの土を踏んでおりました。当初は語学が出来ず、警察や移民局、ソルボンヌ大学の手続きで一つ答えればまた列の最後尾に行き辞書を開くのでした。あの辛さ屈辱感は人生最高の肥やしとなり良い思い出になっております。

そして誰もが味わう三ヶ月目の辛くて怖いホームシックを乗り越えれば後は天国の遊学生活でした。特に二年目からは大学のパリチャン

ピオンを投げ飛ばしたので、アジアの留学生の溜飲を下げ大学都市では人気者でした。

肝心のインテリアの勉強はパリジャンは、自分自身がデザイナーという自負がありましてインテリアの学校はありませんでした。独学しかなく時間があればただで入れるルーブル美術館に通っていました。でも一番ためになったのは私が客員になってるフランスきってのR・C・Fという上流社会のスポーツクラブで子供に柔道の指導をしているとき、オーバーに投げられてやると日本人の五段とお手合わせしてくれたと其の子の母親が喜んで、ディナーの招待があるのです。そしてディナーの時私は柔道家でなく、インテリアの勉強に来てるんだと言うところから延々と部屋の自慢が始まります。迎いの車もぼろぼろ、建物も胡散臭いのの中に入ってみると、アラン・ドロンやブリジッド・バルドーが住んでるような豪華な部屋でそれぞれが個性に充ちた最高の空間でした。

最高の活きた勉強をさせていただきました。内緒ですがフランス人はやっぱりけちです。さあ次は肉かと思ったらデザートなんです。金持ちやったらもっとええもん食わせると心で叫んでました。書籍雑誌も充実しておりましたし、また身元引受人の長男は国立芸術学校の建築科の学生、次男夫婦は共に優秀なデザイナーで大いに学ばせていただきました。

そして国際大会のおり各国の日本人指導者に講習会を企画してもらい、ポーランド在住の友人の柔道家とヴァカンスの度に南はポルトガルから北はポーランドまで共産国を含めてヨーロッパはほとんどの国を回りまして大いに見聞を広めてきました。ギャラは要らない代わりに車を持ってましたので飛行機代は現金でホテルと食事は一流が条件でした。当時怖かったベル

リンの壁も写真を撮っており、貴重な思い出が残っております。とうとう三年半が経ち親父が迎えにきましてようやく帰国した次第です。

そして父の会社を継いだのですが神戸の地場産業である手作りの洋家具は職人の世界で苦勞しました。当社はルイ王朝の時代のスタイルでネコ脚の研ぎ出しが特徴で手間が掛かり高価でなかなか売れません。必然的に職人が減り絶滅寸前です。

現在はタワーマンションやハウジングメーカーの内装やリフォーム、建築で新しい分野で工場を維持しております。なんとか神戸の洋家具が存続するためにも後継者を育てたく思っております。

神戸が洋家具発祥の地で地場産業で歴史的にも価値がありますので、伝統産業を守らないといけません。神戸の洋家具を守るべく皆さまの御助力をお願いして私の卓話を終えさせていただきます。これからもよろしく願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。



白田 勉

- メットライフアリコ神戸 -

私は過去 30 年外資系生保会社で、営業マンの採用と育成を担当して来ました。これまでに、年収 1 億を超える営業マンを 6 人育成し、1990 年世界 NO.1 マネージャーとして表彰されました。

学生時代は、漫才の台本書きに憧れて、日本テレビの生田スタジオでアルバイトをしながら勉強していました。その頃スタジオに泊まり込んでいる若い構成作家の卵が書いた本を見せてもらう機会がありました。その本を読んで、「俺には才能が無いな！」と悟り転職を決意しました。その構成作家の卵が、後の秋元康さんで、私ももう少し頑張れば AKB48 の 1 人位私のもになったかもしれません。(笑い)

新聞の求人広告で、アリコジャパンの営業マンになりました。田舎の両親に連絡すると「そんな仕事をさせる為に大学まで出した訳ではない！」と母親に泣かれたときは参りました。案の定、保険はさっぱり売れず、1 年目の収入は前職の半分以下でした。2 年目何とか持ち直し、3 年目の手ごたえを感じた時、「トレーナーにならないか？」とお声が掛かりました。本社の教育部長から「君は売れない地獄を知っている。一寸売れた楽しさも知っている。そういう奴がトレーナーにぴったりだ！」「売れる奴は自分の型が出来ている。その型に合わない」と

人を殺してしまう。」「君みたいな中途半端が丁度良い！」と言われ、それをほめ言葉と理解してトレーナーになりました。

トレーナーを 1 年経験後、31 歳で神戸のマネージャーとして着任しました。営業マンは、他社経験のある自分の親位の年齢の方ばかりでした。私は、保険を問題解決の手段方法とっておりましたので、お客さんが抱える問題点を理解しようとする方々には辞めて頂き、業界未経験の若い営業マンを採用しました。その時採用した営業マンが、年収 1 億を超える営業マン達に育ちました。

営業マン育成の手法の一つに、瓦版の作成を勧めました。その瓦版「白田新報」の影響力を聞きつけた代理店から、書き方を指導してほしいという依頼も多く、セミナーの参加者からは、かけた費用の 10 倍の売り上げが上がったなど、成果報告を頂いております。

最近、「お客さんから指名されて初めてプロと言える」という理念のもと、相続相談にも乗れる「相続専門のハブ空港」コンサルタントとして活動しています。特殊事情を得意とする専門家への橋渡しを実施し「最後までいい親父でいられる」「安心して死ぬる。」など相続や事業承継に不安を抱える経営者の方々からご相談を頂いています。





## 松島 哲也

- 日本食品エコロジー研究所 -

昨年12月に入会させていただきました松島哲也でございます。昭和27年4月18日生まれの61歳で、広島県三次市の出身です。

広島と言えば、サンフレッチェ、カープ、宮島、お好み焼き、もみじ饅頭、そして原爆ドームがあります。三次市は原爆が投下された広島市から60km以上離れており、当時、私の家族に被爆の心配はありませんでしたが、年上の知人や友人のご家族で被爆手帳を持っておられる方が多くおられます。

中学まで三次市で生活し、呉市の高校へ行きました。呉市は、元海軍の軍港で有名な町で、近くに江田島の海軍兵学校(旧名称)があります。私の通った高校の近くに練兵場という、野球スペースが3面取れる大きな運動公園があり、公園の下は大きな防空壕だったそうです。

大学は大阪堺市にある大学に入学しました。大学卒業後に、大阪に本社のある製薬会社に入社しました。広島支店に配属され、数年間は営業で、松江、出雲の大病院を担当した後、大阪本社に呼ばれ、本社営業本部営業企画部で約10年勤務した後、東京でさらに10年程勤務しました。製薬会社から臨床検査薬の会社に1回目の転職をしました。そして、その会社に在籍中に、今の勤務先の会社設立に携わり、その2年後に2回目となる、転職をしました。

私の勤務先は、日本食品エコロジー研究所で、食品検査の会社です。神戸税関の向いで、100人程の中小企業ですが、従業員の70%が女性です。輸入食品の残留農薬、添加物検査など食品検査を行っています。また、レストランの厨房や、食品工場の検査、指導、そして、水質検査、検便検査などを行っています。食品関係以外では、化粧品の防カビ剤の検査や、人工透析関係の検査も行います。

会社創立10周年を記念して「JIFE ニュース」という情報誌を創刊しました。この情報誌は会社のホームページ <http://jife.co.jp/> からご覧いただけます。

子会社へ出向中に、経営企画部、人事部を経験しました。製薬会社では、他社や、社内の研究、製造部門の窓口業務を経験しました。組合活動も含め色々経験したことが今の社長業に役立っています。

当ロータリークラブはオーナーの方が多いのですが、私は、サラリーマン社長です。会社設立当時の役員の任期は2年でしたが、数年前に1年任期となりました。おかげさまで、毎年、緊張して仕事をしていますが、早いもので、今度の6月で社長業12年となります。

最近、関西在住の高校同窓会がスタートし、最初の勤務先時代の同期会も7月に予定されています。還暦、60年は意味のある時期なのかと感じています。

今月18日に62歳になります。還暦をすぎても新しいことを学び、チャレンジさせていただけるのもロータリークラブならではの感謝しています。まだ入会したばかりで分からないことばかりですが、皆様のご指導を仰ぎ、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 第2回会員親睦会を今年度の打ち上げ会として開催

- 神戸ハーバーランド・モズライトカフェにて58名参加 -



今年度最後の打ち上げ会を、フランクなパーティー形式、お料理はbuffe形式、今年度の思い出話に花が咲く会として、第2回会員親睦会を神戸ハーバーランド「モズライトカフェ」にて、開催いたしました。58名の会員にご参加いただき、野々村会長の挨拶、野田60周年実行委員長の乾杯で、終始和やかに親睦会が開催されました。また、最後に次年度会長の乙守会員より、今年度会長、副会長、幹事、そして

野田実行委員長に対して、記念品が贈呈され、次年度へのバトンタッチもスムーズに行われ、大変実りある会となりました。また、恒例の二次会には、三宮某クラブを貸切り、総勢32名のご参加を頂き、またまた楽しく盛り上がりました。

ご参加いただいた会員の皆様には、深く感謝いたします。

(親睦・家族委員長 松井 照男)



## 第19回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭 報告

- 東日本大震災チャリティーコンサート 2014 愛知県芸術劇場 コンサートホール -



平成26年6月7日(土)に開催された「第19回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」に参加してきました。

今年は、名古屋地区の7合唱団で構成される「名古屋地区RC合唱団連合会」の主催、「名古屋大須RC」主幹により、「愛知県芸術劇場コンサートホール」にて12:00分に開演され、総参加合唱団32組の演奏が、予定通り18:00分に終了し、引き続いて懇親会が「名古屋東急ホテル パロックの間」にて19:00分より開催されました。

当クラブ合唱団は、開演後11番目に、男声12名、女声14名により、「贈る言葉」、「愛は勝つ」の2曲を演奏しました。当日の出番前に、

会場の外で行った直前練習(通行人は驚いていたようですが)の成果で、本番は素晴らしい合唱だったとの評価をいただきました。

場所を変えての懇親会では、お腹が減っているのに料理が中々出てこず、多少イライラしましたが、お世話頂いた方々のおかげで、例年の通り、大いに楽しみました。当クラブ合唱団も「上を向いて歩こう」宴会バージョンを披露し会場の盛り上げに一役買いました。

当日の代表者会議で、来年の第20回合唱祭は函館での開催と決まりましたので、「うまいイカ」と「温泉」を楽しみに合唱の練習に励もうと思います。

(コーラス同好会会員 榊原 志朗)



2月18日「本能を呼び覚ます 登山」  
プロ山岳ガイド 島田和昭氏



3月18日「六甲知っとう？六甲山大学の可能性」  
ホールアース自然学校 神戸六甲分校校長  
六甲山大学 実行委員長 大武圭介氏



3月4日「VTT 帰国報告」  
兵庫県教育委員会事務局 高校教育課  
特色教育係 指導主事 中井里絵氏



3月25日「ちょっとステキなスウェーデンの暮らし」  
社会福祉法人光朔会オリンピック 常務理事 山口 宰氏（神戸西RC）



3月11日「60周年創立記念に向けて PART 2」  
60周年記念事業実行委員長 野田晴清 会員



4月15日「城跡に見る兵庫の世界」 赤松円心から黒田官兵衛へ  
壺井 醇 会員



4月22日「本当のALOHAとは？」  
ゴスペルフラダンス 講師 飯塚りりこ氏



6月3日 臨時総会「未来委員会報告」  
未来委員会 委員長 中井章詞 会員



5月20日 万葉うたがたりコンサート  
「万葉集に親しむ」～いにしへの歌をメロディーにのせて～  
出演者 岡本三千代と万葉うたがたり会 岡本三千代氏  
園田知子氏 山口ひとみ氏



6月10日「クロマチックハーモニカ演奏」  
南里沙氏



5月27日「茅葺屋根をもっと身近に！」  
淡河かやぶき屋根保存会 くさかむり代表 かやぶき職人 相良育弥氏



6月17日「寄席の色物について」  
喜味家たまご氏



余韻会 (俳句同好会)

平成二十六年四月二十四日 於 西村屋 花みかげ

春愁やさとられてゐる無表情

本郷 桂子

いかなこの育ちてくぎ煮太くなり

執行 執艸

春愁や自動掃除機うごめきて

高石 潜菴

花万朶見知らぬ人とたたへ合ひ

白羽 子誠

蝌蚪の群足の出たもの出ないもの

則岡 弘士

新緑を吸ひては吐けり山の道

壺井 仙岳

春愁を日本に置いて飛行機へ

吉井 聖倅

ときめきを踏み出す一步入学す

松原 氣宏

春愁や思ひ出遠く又近く

池西 清栄

菜の花やをんな二人が土堤の上

橘 恵子

余韻会 (俳句同好会)

平成二十六年五月二十九日 於 西村屋 花みかげ

あるだけの窓を全開薔薇の風

本郷 桂子

新緑の積み重なりて錨山

執行 執艸

新緑をビルが串刺す神戸かな

高石 潜菴

丹精のばらの満開妻自賛

白羽 子誠

津々浦々新緑の満つ村のあり

壺井 仙岳

鯉の色ゆらす水面に若葉雨

吉井 聖倅

新緑や指の先まで感じをり

松原 氣宏

赤い薔薇何本買へばよいものか

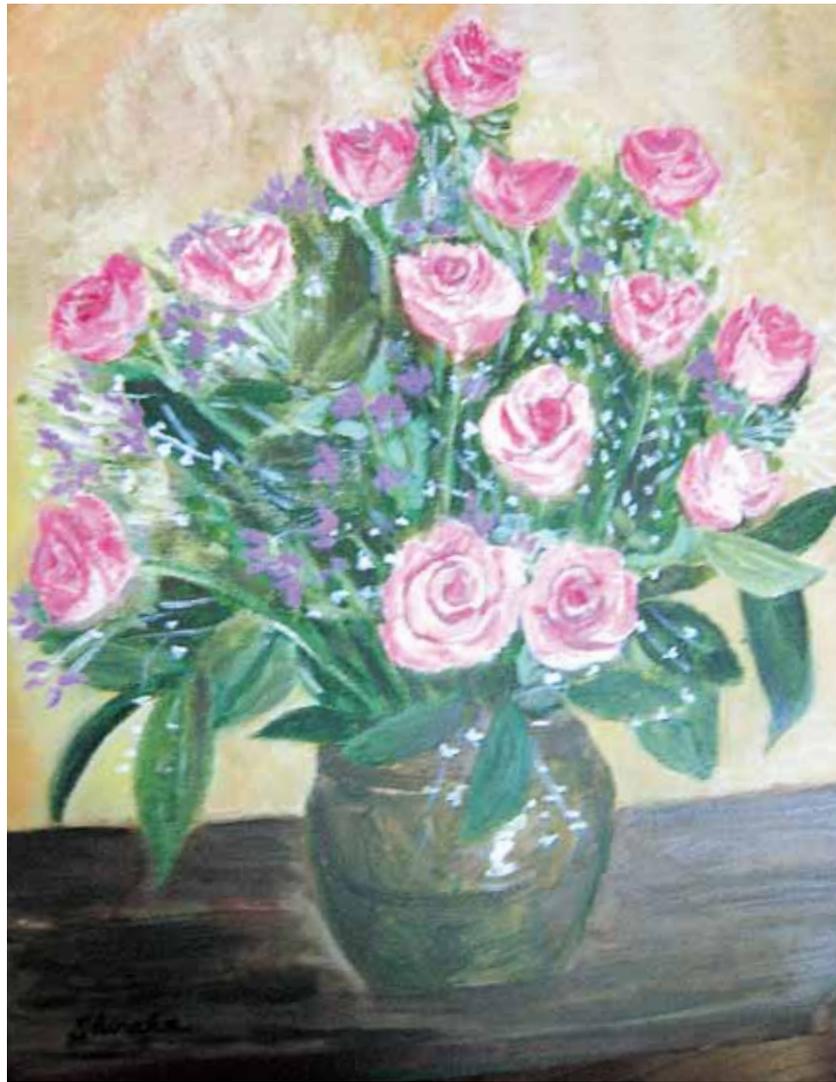
香山 道宣

白きばら高きアーチに登り咲き

池西 清栄

新樹の香善峯山に靈氣満つ

橘 恵子



「ばら」

絵と文 白羽 誠

花の中でも「ばら」は絵に描きたくなる魅力を持っている。しかし、その魅力を満足できる程、絵に表現することは難しい。だから懲りもせず、また絵に描きたくなるのだろう。

## CONTENTS

3 役退任挨拶	1
創立 60 周年記念式典・祝賀会	4
例会卓話 RI のゆくえ	5
職場訪問(障害者就労支援プロジェクト報告)	9
ラウンドテーブル会報告	10
新入会員自己紹介	13
第2回会員親睦会	17
親睦合唱祭報告	19
例会スナップ	20
余韻会	22

### 編集後記

今年度、最後の会報をお届け致します。  
 入会3年目の私が委員長をさせて頂いて1年が終わりました。  
 右も左も分からない私でした。今でもそうです。しかし、記事や原稿、絵画などを、お願いさせて頂く中、神戸東ロータリークラブの中だけではございますが、さまざまな行事、イベント、同好会があることを知りました。  
 そういう意味では、私に神戸東ロータリークラブのことを少しでも勉強させて頂いた有意義な1年間だったと思います。本当にありがとうございました。  
 また、1年を通じ多くの会員の皆様に原稿執筆等でご協力いただき大変感謝申し上げます。

雑誌会報委員長 田中 寿夫